

初期集中支援チーム「てとて」活動報告について

【質問】 支援終了者の内訳で、鑑別結果が未診断22件となっている理由を教えてください。

【回答】 下記のとおり

令和5年度

未診断で終了した人の内訳	件数	理由
入院	3	対応中に身体悪化で入院
状態安定	5	対応中に状態安定しCMに引き継ぎ 家族受診で処方師の助言、かかりつけ医から処方し状態安定する など
本人・家族希望	5	現状でもう少し様子を見たい、と包括に引き継ぐ
認知症疾患医療センター対応	2	本人受診拒否が強く家族希望で終了、センターで経過を見ていく
かかりつけで介護申請、サービス利用	3	鑑別診断はなくても、かかりつけ医で介護申請しサービス利用に繋ぎCM調整
訪問診療に繋ぐ	2	医療に繋ぎ、徐々に介護サービスに繋げていく
包括に繋ぐ	2	相談先が明確になることで安心される
合計	22	

初期集中支援チームは、認知症の方や認知症であろうと思われる方に何らかの症状が出現し、生活に支障をきたしている、サービス利用が上手くいかない、近隣周囲や家族に対して攻撃的になる妄想を持つなど、生活しづらい状況の改善を目的として介入しています。

その中で、上記の理由のように鑑別診断はしなくても様々な理由で状況が改善することがあります。中には、医療・介護に引継ぎができず問題解決できないこともあり、初期集中支援チームから認知症疾患医療センターで引き続き経過をみていくケースもあります。

様々な状況で未診断で終了していくケースがありますが、本人や周囲の生活改善や介護負担が軽減でき地域での生活を長く続けていけるよう活動していきますので、引き続きよろしくお願ひします。

初期集中支援チームてとて 植西圭子